

独立2変数の絶対不等式【復習用問題2】

2つの関数を

$$\begin{cases} f(x) = 8x^2 + 16x - k \\ g(x) = 2x^3 + 5x^2 + 4x \end{cases}$$

とする。ただし、 k は実数とする。

- (1) $-3 \leq x \leq 3$ の範囲の任意の x に対して、常に $f(x) \leq g(x)$ となるための k の値の範囲を求めよ。
- (2) $-3 \leq x_1 \leq 3, -3 \leq x_2 \leq 3$ の範囲の任意の x_1, x_2 に対して、常に $f(x_1) \leq g(x_2)$ となるための k の値の範囲を求めよ。

< '00 西南学院大 >

【戦略】

戦略自体は例題と同様のため、割愛します。

【解答】

$$\begin{aligned} (1) \quad f(x) \leq g(x) &\Leftrightarrow 8x^2 + 16x - k \leq 2x^3 + 5x^2 + 4x \\ &\Leftrightarrow 2x^3 - 3x^2 - 12x + k \geq 0 \end{aligned}$$

$h(x) = 2x^3 - 3x^2 - 12x + k$ とおき、 $-3 \leq x \leq 3$ における $h(x)$ の最小値が 0 以上となるような a の範囲を求めればよい。

$$\begin{aligned} h'(x) &= 6x^2 - 6x - 12 \\ &= 6(x+1)(x-2) \end{aligned}$$

$-3 \leq x \leq 3$ における $h(x)$ の増減表は以下ようになる。

x	-3	...	-1	...	2	...	3
$h'(x)$		+	0	-	0	+	
$h(x)$		↗		↘		↗	

$-3 \leq x \leq 3$ における $h(x)$ の増減の仕方から最小値は $h(-3)$ または $h(2)$

であるが、

$$\begin{cases} h(-3) = k - 45 \\ h(2) = k - 20 \end{cases} \text{ であり, } h(-3) < h(2)$$

ゆえに、 $-3 \leq x \leq 3$ における $h(x)$ の最小値は $h(-3) = k - 45$

題意を満たす条件は $k - 45 \geq 0$ 、すなわち $k \geq 45$... 罫

- (2) $\begin{cases} -3 \leq x \leq 3 \text{ における } f(x) \text{ の最大値を } M \\ -3 \leq x \leq 3 \text{ における } g(x) \text{ の最小値を } m \end{cases}$ とする。

このとき、 $-3 \leq x_1 \leq 3, -3 \leq x_2 \leq 3$ を満たす任意の x_1, x_2 に対して

$$\begin{cases} f(x_1) \leq M \\ g(x_2) \geq m \end{cases}$$

が成り立つ。

ゆえに、 $m \geq M$ となれば、 $f(x_1) \leq M \leq m \leq g(x_2)$ となり、題意を満たす。

以下、 m, M をそれぞれ求める。

$$\begin{aligned} g'(x) &= 6x^2 + 10x + 4 \\ &= 2(3x+2)(x+1) \end{aligned}$$

x	-3	...	-1	...	$-\frac{2}{3}$...	3
$g'(x)$		+	0	-	0	+	
$g(x)$	-21	↗	-1	↘	$-\frac{28}{27}$	↗	111

よって増減表から

$$m = g(-3) = -21$$

一方

$$f(x) = 8(x+1)^2 - k - 8$$

$-3 \leq x \leq 3$ の範囲では $M = f(3) = 120 - k$

$m \geq M$ となるの範囲は $-21 \geq 120 - k$

すなわち $k \geq 141$... 罫

【総括】

ここまでくると分かると思いますが、絶対不等式の問題は

一皮むけば最大・最小問題

ということが言えます。